**令和５年度　多摩市立多摩永山中学校　　授業改善推進プラン　　教科名**

理科

|  |  |
| --- | --- |
| **理科における指導の重点（身に付けさせたい力）　※学習指導要領に照らし合わせて** | |
| ア　知識及び技能 | イ　思考力、判断力、表現力等 |
| 自然の現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けていること | 自然の現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究する力 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 生徒の学力の状況（課題） | 授業における具体的な手だて | 手だての実施時期 | 成果検証（２月） |
| 第１学年 | ・実験観察は興味をもち、主体的に行うが、花のつくりの名称などの知識の定着が不足している生徒がいる。ア | ・練習問題プリントや単元テスト，小テストを行い、知識の定着をはかる。  ・授業中の問いかけの中に、復習を入れていく。 | ・１０月、１１月、１２月 |  |
| 第２学年 | ・気象単元における空気中の水蒸気量や湿度を求めるなど、計算を要する問題に多くの生徒の苦手意識が感じられる。イ | ・物質単元、エネルギー単元においても計算を要する問題においてスモールステップでの問題練習を行い、苦手な生徒でも段階的に取り組めるようにする。 | ・１１月、１２月 |  |
| 第３学年 | ・実験観察は興味をもち、主体的に行うが、考察の検討や理論の原理を苦手とする生徒が多い。イ | ・実験レポートなどの考察をスモールステップで考えられるように作成し、つまずきの箇所を明確にし、その後の主体的な学習につなげる。 | ・１０月、１１月、１２月 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| **■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等ICTの効果的な活用について** | **■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学び**  **に向かう力」の育成に向けた取組について** |
| **１年　顕微鏡観察でタブレットのカメラ機能を用いる。【重点：個別・協働】**  **２年　ロイロノートを使用して実験結果を共有する。【重点：協働】**  **３年　インターネットを使用した情報の収集と整理【重点：個別】** | **１年　生徒自らが自然現象に対する学習課題を見出す場面の設定**  **２年　ワークを用いた学習内容の理解度確認の実施**  **３年　生徒自らが課題解決の方法を立案し、検証する場面の設定** |